

TAC通信

毎月、TAC（担い手支援担当）の取組み状況などをご報告いたします。

営農経済部営農支援課 中部エリア宮代地区担当の岡安です。

現在、長期化するロシアのウクライナ侵攻や、中国の輸出制限一層厳格化などの影響による原材料価格高騰、さらに円安の進行により、農業資材全般は昨年来、大幅な値上げとなっております。そこで化学肥料の代わりに注目されている家畜糞堆肥についてご紹介いたします。

現在JA南彩では、鶏糞・豚糞・牛糞堆肥等を扱っており、①鶏糞②豚糞③牛糞の順に含有する肥料分が多くなっております。また家畜糞堆肥は含有肥料分がすべて効果を示す訳ではありません。肥効率は以下の通りです。（肥効率とは化学肥料と同等な肥効を示す有効成分の比率をいいます）

	窒素	リン酸	加里
牛糞堆肥	20%	60%	90%
豚糞堆肥	40%	60%	90%
鶏糞堆肥	50%	70%	90%

※埼玉県HP 施肥改善指導マニュアル 4 優良堆肥の使用 表22堆肥の肥効率より



JAで取扱いしている家畜糞堆肥の一部

家畜糞堆肥を施用する際の注意点としましては、①豚糞・鶏糞は栄養成分が多いこと②リン酸・加里は肥効率も高く、過剰投与になりやすいこと③窒素は利用されない分が持ち越され、年々蓄積することなどがあげられます。

特に水稻を作付けする圃場到家畜糞堆肥を利用するときは品種や土壌条件に応じて施用量に細心の注意が必要となりますので、目安などは各担当地区のTAC（営農渉外）へご相談お願いいたします。

（※湿田では生育障害発生の恐れがあるため施用はおすすめしません）

今後も皆さまのお役に立てるような情報提供が出来るように、努力して参ります。